



富田牧子 (チェロ)
Makiko Tomita, Cellist

東京芸術大学在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。フランス、イタリア、オーストリア、ドイツの音楽祭や講習会、またニューヨークでH.シャピロ氏の指導を仰ぐなど、ソロと室内楽の研鑽を積む。大学院修士課程修了後、2000年から2年間ハンガリーに留学、パルトーク弦楽四重奏団のチェロ奏者L.メズー氏に師事。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。各地でソロリサイタルのほか、弦楽四重奏団メンバーとしての活動を行う。その後、ピリオド奏法への関心を深め、バロックと現代のスタイルの楽器にガット(羊腸)弦を張り、様式の異なる弓を使い分けながら、様々な楽器との組み合わせによる「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」の企画・演奏を続けている。2台のチェロを持ち替えながら、J. S.バッハと近現代の無伴奏作品を組み合わせ演奏するサンドイッチコンサートも好評継続中。パーカッションのコスマス・カピツァ氏とのデュオ《羊とヤギ》でCD「O Terra (大地よ)」をリリース。

<http://tomitamakiko.seesaa.net>

原田靖子 (オルガン) Yasuko Harada, Organist

幼少期に昆虫や動物、海などのために音楽を作り、ピアノの低音を鳴らして倍音を聴くことに熱中する。小学生の時、移り住んだ和歌山の大自然の懐において自分の命が輝く体験を通して、圧倒的な感動を知る。中学生から作曲理論を学び始めるも関心の対象は次々と風のように様々なものに移りゆくなか、「風の楽器」であるパイプオルガンに出会う。東京芸術大学作曲科および同オルガン科卒。これまでにオルガンを深井李々子、廣野嗣雄、早島万紀子、通奏低音を今井奈緒子、作曲及び作曲理論を浦田健次郎、故・山田泉、川井學、礼拝におけるオルガン即興演奏をスコット・ショウの各氏に師事。2014年より松本市音楽文化ホール第4代オルガニスト。通常のコンサートに加え、オルガン製作家と共に楽器造りの秘密に迫る公演や、ダンサーや美術家など他ジャンルのアーティストとの協働創作による親子向けの舞台作品を上演するなど、オルガンの新しい息吹を松本から発信。また、ホール主催のオルガン講習会やオルガンレッスンの講師としても広くオルガンの魅力を伝えている。

＊災害救援NGO ヒューマンシールド神戸 (代表：吉村誠司) ＊

地震や洪水などの災害時に、いち早く現地に駆け付ける災害救援NGO。1995年阪神淡路大震災から被災地支援を始め、現在はOpen Japanの一員として東日本大震災の復興支援を継続しつつ、多くの団体・個人と連携しながら各地で相次ぐ水害や震災の救援活動を行っている。ネパール地震やフィリピンの台風など海外での活動も多い。

「吉村誠司の地球日記」<https://williamseiji.wordpress.com>

「吉村誠司 Facebook」<https://www.facebook.com/seiji.yoshimura.73>

このような活動にベテル教会を使っただきありがとうございます。

「互いに重荷を担う」(ガラテヤの信徒への手紙6章2節)教会として私たちが支援しています。

ベテル教会 牧師 関義朗

日本キリスト教団 ベテル教会

[東京都渋谷区富ヶ谷 1-35-9]

【電車の場合】

小田急線「代々木八幡駅」、
千代田線「代々木公園駅」
1番出口(代々木上原駅側)
または2番出口(代々木公園出口)
から徒歩約8分。

【バスの場合】

渋谷駅前バス(渋谷66)乗車、4駅目「富ヶ谷」

